

日本水準の建築技能訓練者育成プログラム普及・実証事業 株式会社KNDコーポレーション(埼玉県)

ミャンマー国の開発ニーズ

- 各種インフラ整備のための建築技能者人材不足

2011年以降の民主化を背景として、インフラ整備、住宅、ホテル等の建設が急増しているが、それに対応できる建築技能者、建築技能教育機関の数が圧倒的に不足している。

普及・実証事業の内容

- モデルコース運営による建築技能者、現地指導員の育成。
- 現地に合った建築技能者育成モデルコースの開発。
- 開発したモデルコースの普及方法検討。

提案企業の技術・製品



製品・技術名

座学・実習を含めた4か月の 建築技能訓練カリキュラム

- 集中的かつ効率的な訓練課程
- 短期間で日本の水準のスキル習得が可能。
- 「ものづくり大学」の教授法
- モデルコース:「大工」、「左官」、「鉄筋コンクリート」

事業概要

【相手国実施機関】

労働・入国管理・人口省

【事業期間】

2016年12月～2019年7月

【事業サイト】

スキルズトレーニングセンター(ヤンゴン)

ミャンマー国側に見込まれる成果

- 建築技能者、建築技能教育機関増加によるインフラ整備の推進

短期間で日本水準のスキル習得が可能なモデルコースが開発されることにより、一定水準の技能を有した建築技能者、建築技能教育機関が増加し、ミャンマーにおけるインフラ整備が加速することが期待される。

日本企業側の成果

現状

- 国内市場の縮小が見込まれる中で、海外進出を企業の方針として掲げているが、現状進んでいない状況。

今後

- 本事業を契機としてミャンマー進出
- ミャンマーにおける建築技能訓練校の運営コンサルティング業務等を展開。